

3 市民にわかりやすい河川の水環境指標について

【目的】

市は、これまで環境法令に基づき、生物化学的酸素要求量（BOD）を始めとした調査項目での水質監視を実施してきました。しかし、市民が求める河川環境は、そこにきれいな水が流れていることだけではないため、行政が行う専門調査では十分な河川環境の評価ができない状況となっています。

そこで、市民感覚に即した新たな河川を評価する指標「市民にわかりやすい河川の水環境指標」を作成し、平成 20 年度から、市民との共働調査を実施しています。この調査を行うことで、身近な水辺への環境意識を向上させていきます。

【わかりやすい水環境指標】

水環境指標を使用した調査は、容易に参加できること、地域の水辺環境の特徴を把握できることを意識し、「きれいな水」、「多様な生物」、「地域とのふれあい」をキーワードに、主に人の五感により調査できる項目を選定しています。行政が行っている市内の主要河川の水質分析を中心とした調査とはその点が大きく異なります。

各指標項目及び指標値については、下表のとおりです。

表 2-12-1 共働調査に係る各指標項目の概要

| 区 分 | 調査の項目 | 調査の内容 |
|----------|----------------|------------|
| きれいな水 | ごみの量、におい等 | 感覚による調査 |
| | 透視度 | 透視度計 |
| | COD | 市販のパックテスト |
| 多様な生物 | 生き物の生息状況 | 感覚による調査 |
| | アンモニア性窒素 | 市販のパックテスト |
| 地域とのふれあい | 景観性、水辺の近づきやすさ等 | 感覚による調査 |
| 水の利用性 | 水の量、水の質等 | 専門調査(行政実施) |

表 2-12-2 共働調査に係る指標項目と指標値

| 指標項目 | | 指標値 | | | | 調査主体 | |
|----------------------|------------------------|--|---|--|--|-------------------------|----|
| | | ランク A | ランク B | ランク C | ランク D | | |
| 市民 との 共働 調査 | きれいな水 | ごみの量 | ごみが見あたら ない | ごみが目につく が我慢できる | ごみがあって不快 | とても不快 | 市民 |
| | 透視度 | 100cm 以上 | 70cm 以上 | 30cm 以上 | 30cm 未満 | | |
| | COD (簡易調査) | 2 mg/L 以下 | 4 mg/L 以下 | 6 mg/L 以下 | 6 mg/L を超える | | |
| | 川底の感触 | 触れて心地よい。 触れてみたい気 分 | 触れることに抵 抗感がない | ところどころヌ ルヌルしている | ヌルヌルしてお り不快 | | |
| | におい | 心地よい香りを 感じる | 気になるにおい を感じない | 少しいやなにお いを感じる | いやなにおいを 強く感じる | | |
| 多様な生物 | アンモニア性 窒素 (簡易調査) | 0.2 mg/L 以下 | 0.5mg/L 以下 | 2.0 mg/L 以下 | 2.0 mg/L を超える | 市民 | |
| | 生き物の 生息状況 | 魚が泳いでいる。 水辺に鳥や昆虫な ど、様々な生き物が いる。 | 魚がいる。 水辺に鳥 (又は昆虫 など) がいる。 | 魚を見たことがある。 魚が生息できる。 ときどき水辺に鳥 (又 は昆虫など) が来る。 | 魚が生息できない。 鳥 (又は昆虫など) が来ない。 | | |
| 地域との ふれあい | 水辺への近づ きやすさ | 安全で容易に近 づける | 近づくことがで きる場所が多い | 近づくことがで きる場所が少な い | 近づくことがで きない | 市民 | |
| | 地域活動の有 無 | 多くの住民等が 清掃活動などに 参加している | 少数の住民等が 清掃活動などに 参加している | 清掃活動などが 行われることも ある | 清掃活動などは 行われていない | | |
| | 住民の 利用状況 | 日常的に多くの 人が利用 | 一部の人が利用 | 利用されること もある | 全く利用されて いない | | |
| | 景観性 | 好ましい風景 | 比較的好ましい 風景 | あまり好ましい 風景でない | 好ましい風景で ない | | |
| 行政の 専門調査 | 水の 利用性 | 水の量 | 0. 5m ³ /秒以上 | 0. 2m ³ /秒以上 | 0. 1m ³ /秒以上 | 0. 1m ³ /秒未満 | 行政 |
| | 水の質 | 環境基準 AA 類型 レベル (pH, BOD, SS, DO) | 環境基準 A・B 類 型レベル (pH, BOD, SS, DO) | 環境基準 C 類型レ ベル (pH, BOD, SS, DO) | 環境基準 D・E 類 型レベル (pH, BOD, SS・ごみ, DO) | | |

【共働調査結果】

令和6年度の調査は資材貸出も含め 11 河川延べ 520 人が調査を実施しました。



図 2 - 3 共働調査実施地点

下表の指標値は、回収できた調査用紙をもとに参加者の平均値を示しています。

表 2-13 令和6年度共働調査結果

| 実施日 | 実施場所 | 調査団体 | 参加人数 | きれいな水 | 多様な生物 | 地域とのふれあい |
|-------|------|--------------------|-------|-------|-------|----------|
| 6/6 | 矢作川 | 平和小学校 | 38 人 | B | B | C |
| 6/13 | 伊保川 | 大谷高校 | 35 人 | B | C | C |
| 6/26 | 滝川 | 九久平小学校 | 29 人 | B | B | B |
| 7/6 | 西中山川 | 西中山自治区 | 83 人 | B | B | B |
| 7/9 | 白川 | 石畳小学校 | 20 人 | B | B | B |
| 7/11 | 巴川 | 追分小学校 | 12 人 | B | A | — |
| 7/13 | 伊保川 | 浄水小・浄水北小学校地域学校共働本部 | 69 人 | B | A | B |
| 7/18 | 足助川 | 足助小学校 | 17 人 | B | B | B |
| 7/20 | 阿摺川 | 阿摺川の清流を愛する会 | 100 人 | A | A | B |
| 9/12 | 檜尾川 | 古瀬間小学校 | 46 人 | B | C | — |
| 9/18 | 広田川 | 東広瀬小学校 | 23 人 | D | B | — |
| 9/20 | 巴川 | 松平こどもサークルかのこ | 14 人 | B | B | B |
| 10/25 | 神越川 | 足助小学校 | 17 人 | A | B | C |
| 10/25 | 矢作川 | 足助小学校 | 17 人 | C | B | C |

表 2-14 参加者アンケート結果

| 川のイメージ | よくなった | 変わらない |
|--------|-------|-------|
| | 158 | 54 |

総回答数：222人

表 2-15 参加者アンケート結果（川を守ろう宣言）

- ・せんざいを使いすぎない
- ・ポイステをしない！
- ・川にごみすてない まもる
- ・食べ残しをへらす
- ・ゴミをすてない。いきものにやさしくする
- ・川をきれいにします！
- ・おさんぽのときにごみひろいをしたりゴミをすてない
- ・ボランティアや、ぶんべつに協力する
- ・あぶらなどをさいりょうすること
- ・きたない川の体への悪影響、まわりの環境への悪影響がどんなことがあるかしっかりと知る。
- ・魚や生き物に有害なものを川にいれないこと
- ・ごみを川やうみやいけのちかくにすてようとしてるひとにおしえる

当日の調査の様子



西中山川



伊保川



阿摺川



巴川